



ひかり

＝めざす子ども像＝

心やさしい子

進んで学ぶ子

体を大切にする子

豊かな心 ——— 生活アンケート調査について ———

6月9日（月）～6月13日（金）の期間で「生活アンケート」を実施しました。「いじめ」等がなく、子どもたちが安心して学校に通えるようにするために、子どもたちの生活の様子や困っていることなどを把握することが目的です。本校では、こうした「生活アンケート調査」を、6月、12月、2月頃と年3回実施しています。子どもたちの回答をすべて確認した後、適宜担任が面談を行って「校内いじめ対策会議」や「ケース会議」で現状を報告・確認し、指導内容及び方法を検討・協議して実施するなど組織的に対応しています。指導後は、次のアンケート調査を目安に継続的に見守っていきます。「いじめ」に対する本校の取り組みについては、学校ホームページに「南新浜小学校いじめ防止基本方針」をお示ししていますので、ご覧いただければ幸いです。また、本校では、「いじめ」0を目指して、次のような取り組みも行っています。

○発達段階に応じた未然防止活動（授業・学習を通して）R7予定

- ・道徳授業の展開・充実（全学年） 今後、授業内容を適宜学校だよりで紹介いたします。
- ・福祉教育の推進：車椅子体験学習（3年生）
- ・人権教室：出前授業（2、4年生）
- ・学校支援実践講座：地域の方々とのディスカッション（5年生）
- ・ジェンダー教育：出前授業（5年生）
- ・情報モラル教室：出前授業（5年生）今年度は保護者参観も可能です。
- ・インターネットトラブル防止教室：出前授業（6年生）
- ・スクールロイヤー（弁護士）による人権教室：出前授業（6年生）

裏面にご案内・お知らせを掲載してありますのでご覧ください。

○多様な教育的ニーズを視点とする教育活動による未然防止活動

- ・体験的学習及び交流学習の推進（異年齢交流）
- ・ワールド学級の充実・日本語指導の充実（外国籍児童への対応）
- ・にじのわ学級との交流及び共同学習
- ・たんぽぽルームとの連携
- ・ケース会議、校内いじめ対策会議
- ・市川スマイルプラン作成（適宜面談）
- ・関係機関との連携及び教職員の研修（発達を含む様々な課題の認知と対応）

＜教育委員会、児童相談所、子ども家庭支援課、市巡回指導員、県特別支援教育アドバイザー・行徳警察等＞

○その他（複数の職員による見守りの強化）

- ・担任交換授業の実施（学年や児童の実態に応じて検討して実施する）
- ・教科担任制の実施（学年や児童の実態に応じて検討して実施する）
- ・専科教諭の配置（要請）



生徒指導主任の先生から

年3回の「生活アンケート」だけでなく、困ったことがあったら担任の先生をはじめ、誰でも良いので相談してください。保護者の皆様におかれましても、お子様に困っていることがありましたら、担任までご連絡ください。よろしくお願いいたします。

～ ご案内・お知らせ ～

情報モラル教室 （対象：5年生児童 及び 全校保護者）

6月30日（月） ① 9:15～10:00 5年生教室
② 10:25～11:10 //

③ 11:15～12:00 //

講師 上條 理恵 様 少年問題アナリスト/元上席少年補導専門員
東京経営短期大学 特任准教授

講師の上條理恵様は、長年多岐に渡って市川市の保護者や子どもたちと係わり、相談や面接などを実施していらっしゃいました。また、学校や保護者を対象にした講演等も数多く行っています。昨年度は、本校近隣の学校職員を対象とした研修会の講師も務めていただき、多くの示唆をいただいております。

5学年児童を対象とした教室・行事ではありますが、保護者の皆様におきまして、ご家庭でのお声掛け等に活かしていただける点が多々あるのではないかと考えております。是非、ご参観いただければと思います。（教室の後方よりご参観が可能です。）

信頼される開かれた学校 —— 不審者対応避難訓練について ——

昨年度に引き続き、6月18日（水）不審者対応避難訓練を実施しました。不審者が学校に入ってきたときに、どう行動するべきかを学ぶ訓練でした。児童は、担任の先生の指示をよく聞いて、落ち着いて行動できていました。意義のある訓練になり良かったと思います。

安全主任の先生から

避難しなければならない状況がおきたときは、怖い思いもするし、緊張もすると思います。そのような、もしもの時のための避難訓練です。これからも真剣に取り組ましましょう。自分の命を自分で守るために、そして周りの友だちを危険にさらすことのないように、「担任の先生の指示をよく聞くこと」「すばやく行動すること」を心がけてください。よろしくお願いします。

健やかな体 —— 「安全・安心」な「おいしい給食」 ——

今年の夏も、全国的に猛暑となることが予想されています。子どもたちには、暑さに負けず、楽しく学習・運動に取り組み、健やかに成長してってほしいと思います。育ち盛りの子どもたちにとって、規則正しい生活、睡眠と食事はとても大切です。



ご存じのように給食は、味・栄養・カロリーなど様々な計算と、衛生管理・チェックなど細心の注意を払い提供されています。600食以上を作る給食室は、炊く、茹でる、蒸す、揚げるなど熱さは大変なもので、白衣、マスク、頭巾、手袋で覆われた調理員の方々の体温はかなりの高さになります。すべて、子どもたちの笑顔と健康のためです。子どもたちには、残さず食べて、暑さに負けない体をつくってほしいと思います。

給食室で従事する調理員みなさんの健康を留意して、次のように取り組みます。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

<給食室における熱中症0（ゼロ）週間の取組み>

特に高温多湿になる夏休み前後の2週間程度（7月～9月中旬）を「熱中症0週間」とします。市川市立学校全体において、子ども達の安心安全な給食提供のために、調理従事者の健康と安全を考え、献立内容や使用食器の枚数に配慮した給食とさせていただきます。ご理解ご協力をよろしくお願いします。

市川市教育委員会保健体育課

—— 「安全な水泳指導」のためのボランティアに感謝いたします ——

熱中症アラートを注視しながらも、活動時間・活動場所での「暑さ指数」の実測を何度も行いながら水泳指導に取り組んでいます。保護者及び関係者のボランティア活動による見守りに大変助けられています。プールサイドもかなりの暑さです。体調に留意しながら引き続きお力添えいただければ幸いです。